

活用データ名・指標名	指標ID	単位	備考	データの値											
				地域			都道府県平均・合計			全国平均・合計			比較地域		
				兵庫県	洲本市		2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024
認定率	B4-a	%	見える化・時系列(各年度年報)	21.2	21.4	21.7	20.8	21.2	21.6	19.0	19.4	19.7	19.7	19.9	20.0
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	19.5	19.8	20.3	20.8	21.1	21.6	19.0	19.4	19.7	18.2	18.6	19.0
調整済み認定率(要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	6.7	6.9	7.1	6.4	6.4	6.4	6.5	6.6	6.6	5.7	5.9	6.1
調整済み認定率(要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列(比較地域と比較)(各年度年報)	12.8	12.9	13.2	14.4	14.8	15.2	12.5	12.8	13.2	12.5	12.7	12.9

全国平均等との比較
 ●認定率については、県平均と同水準で、全国平均、あわじ市より高い。
 ●調整済み認定率は、県平均より低く、全国平均、南あわじ市より高い。

全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)
 ●高齢独居世帯の割合が他の地域と比べて高く、そのために認定率が高いのではないかと考えられる。

設定した仮説の確認・検証方法
 ●「見える化」システムの指標を利用。
 ①「A7-a高齢独居世帯の割合(2020年)」は、全国平均12.1、県平均13.1、当市17.5、南あわじ市13.8。独居高齢者は、家族と同居している高齢者に比べ介護保険サービスを利用する可能性が高いと考えられる。
 ②「F1週1回以上の通いの場の参加率(2020年)全国平均2.1、県平均4.9、当市7.9、全国平均・県平均と比べると参加率が高いことより、介護予防につながっていると考えられる。

問題を解決するための対応策(理想像でも可)
 ①高齢者世帯への支援として「ひとり暮らし高齢者入浴サービス」、「移動手段確保事業助成券」、「配食サービス」、「外出支援サービス」等の支援を行う。また、2025年度からはヒアリングフレイル予防として、「聞こえGENKI事業」を開始する。
 ②住民主体の通いの場(いきいき百歳体操等)の継続支援や拡充。またフレイル・オーラルフレイル・ヒアリングフレイル・認知症予防健診等の普及・啓発の取り組みを図る。

自由記述

				2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024
受給率(施設サービス)	D2	%	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	3.6	3.6	3.7	2.7	2.7	2.8	2.8	2.9	2.9	3.8	3.8	3.8
受給率(居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	1.2	1.2	1.3	1.3	1.3	1.4	1.3	1.4	1.4	1.0	1.0	1.0
受給率(在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	11.5	11.7	11.9	11.3	11.6	11.8	10.4	10.5	10.8	10.7	10.7	10.9

全国平均等との比較
 ●施設サービスは、県平均、全国平均より高く、南あわじ市と同水準。
 ●居住系サービスは、県平均、全国平均と同水準で、南あわじ市より高い。
 ●在宅サービスは県平均と同水準であるが、全国平均、南あわじ市より高い。

全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)
 ●在宅サービス受給率が全国平均・南あわじ市より高いのは、当市の高齢独居世帯の割合が高く、在宅で暮らすためにサービスを利用している高齢者が多いことが要因の一つではないかと考えられる。また、重度化する家族の支援が得られないため施設に入居する人が多く、全国平均・県平均に比べて施設サービスが高いのではないかと考えられる。高齢者人口に対して施設数が多くあることも要因の一つではないかと考えられる。

設定した仮説の確認・検証方法
 ●「見える化」システムの指標を利用。
 ①「K1-aサービス提供事業者数(介護老人福祉施設)」(2024年)人口10万人当たりの施設数(全国平均6.9、県平均6.9、当市12.3、南あわじ市20.6)。
 ②「K1-b(地域密着型介護老人福祉施設)(2024年)全国平均2.1、県平均1.9、当市7.4、南あわじ市6.9)。

問題を解決するための対応策(理想像でも可)
 ●今後高齢化が進み、ますます在宅医療・介護ニーズの増加が予測される。医療介護職による多職種向け研修会や勉強会、会議を通じて、連携強化を図る。
 ●高齢利用者の増加に対応できる、利用者のニーズに沿った柔軟なサービス提供のために、他職種との連携や情報収集等を重点的に行っていく。

自由記述

				2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024	2022	2023	2024
受給者1人あたり給付月額(在宅および居住系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	112,851	113,631	114,074	123,030	124,939	126,316	130,076	132,661	134,167	100,570	103,557	105,827
受給者1人あたり給付月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	102,102	103,148	103,308	112,994	114,745	115,911	118,723	121,225	122,463	92,614	95,030	97,383
受給者1人あたり給付月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	51,885	52,217	54,406	81,207	84,664	88,012	76,920	80,033	82,954	50,080	50,050	53,358
受給者1人あたり給付月額(訪問入浴介護)	D17-b	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	43,781	46,655	47,318	61,342	62,802	64,084	61,811	63,050	64,165	51,182	67,426	72,815
受給者1人あたり給付月額(訪問看護)	D17-c	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	35,924	35,420	35,299	39,076	38,933	38,671	41,294	41,639	41,723	37,357	35,161	34,530
受給者1人あたり給付月額(訪問リハビリテーション)	D17-d	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	32,677	32,296	31,968	34,537	35,112	35,008	33,674	34,290	34,488	31,977	33,359	34,087
受給者1人あたり給付月額(居宅療養管理指導)	D17-e	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	8,805	9,282	9,009	12,813	13,250	13,696	12,382	12,797	13,140	7,472	8,252	9,060
受給者1人あたり給付月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	55,750	54,575	55,586	76,326	77,049	76,866	83,258	84,468	84,441	68,537	70,384	71,620
受給者1人あたり給付月額(通所リハビリテーション)	D17-g	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	67,712	67,512	71,284	56,483	56,110	55,983	58,136	58,919	58,755	60,622	63,034	67,562
受給者1人あたり給付月額(短期入所生活介護)	D17-h	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	124,369	125,891	127,519	109,050	107,262	108,081	108,557	106,700	107,732	127,655	127,542	130,286
受給者1人あたり給付月額(短期入所療養介護)	D17-i	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	93,132	99,046	110,677	98,890	97,570	99,126	91,342	90,321	91,585	82,161	108,061	96,392
受給者1人あたり給付月額(福祉用具貸与)	D17-j	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	9,704	10,000	10,393	11,406	11,490	11,590	11,966	12,126	12,212	10,203	10,140	10,324
受給者1人あたり給付月額(特定施設入居者生活介護)	D17-k	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	169,364	177,950	178,619	179,040	181,592	183,201	184,041	187,186	190,209	128,765	140,997	141,736
受給者1人あたり給付月額(介護予防支援・居宅介護支援)	D17-l	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	12,264	12,401	12,643	12,449	12,369	12,446	13,138	13,148	13,292	10,745	10,801	10,923
受給者1人あたり給付月額(定期巡回・随時対応型訪問介護看護)	D17-m	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	139,740	120,042	87,247	173,096	172,909	168,585	166,008	168,947	168,005	320,714	230,967	96,405
受給者1人あたり給付月額(夜間対応型訪問介護)	D17-n	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	-	-	-	93,435	71,898	37,857	38,815	39,394	41,014	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型通所介護)	D17-o	円	見える化・時系列(各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	82,657	77,256	77,949	108,587	108,255	109,624	116,352	117,998	119,286	125,417	111,052	116,981

受給者1人あたり給付月額(小規模多機能型居宅介護)	D17-p	円	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	198,908	196,720	199,786	195,248	196,326	201,155	191,609	193,706	197,919	186,792	198,835	201,414
受給者1人あたり給付月額(認知症対応型共同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	254,554	257,776	259,390	262,362	266,787	271,775	260,638	264,722	269,968	246,230	251,558	257,465
受給者1人あたり給付月額(地域密着型特定施設入居者生活介護)	D17-r	円	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	-	-	-	212,021	217,726	221,319	198,573	200,515	204,759	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(看護小規模多機能型居宅介護)	D17-s	円	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	-	-	-	287,775	290,970	297,183	260,420	264,162	270,931	-	-	-
受給者1人あたり給付月額(地域密着型通所介護)	D17-t	円	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	61,285	68,147	69,174	69,377	68,703	68,668	74,762	74,616	74,158	74,683	74,644	81,500
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	19.6	19.7	19.8	27.9	29.2	30.8	26.2	27.2	28.4	17.4	16.9	18.4
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問入浴介護)	D31-b	回	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	3.5	3.7	3.7	4.7	4.8	4.9	4.9	4.9	4.9	4.0	5.3	5.8
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問看護)	D31-c	回	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	9.9	9.8	9.7	8.9	9.0	8.9	8.9	9.0	9.0	11.0	10.4	10.1
受給者1人あたり利用日数・回数(訪問リハビリテーション)	D31-d	回	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	11.3	11.4	11.3	11.9	12.1	12.1	11.5	11.7	11.7	11.4	12.0	12.4
受給者1人あたり利用日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	8.8	8.7	8.7	9.7	9.7	9.6	10.7	10.8	10.7	10.0	10.1	10.2
受給者1人あたり利用日数・回数(通所リハビリテーション)	D31-f	日	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	7.3	7.4	7.5	5.2	5.1	4.9	5.7	5.7	5.6	6.0	6.3	6.6
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	15.1	15.1	14.8	12.5	12.1	12.0	12.7	12.4	12.3	17.2	16.7	16.6
受給者1人あたり利用日数・回数(短期入所療養介護)	D31-h	日	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	8.2	8.5	9.2	8.5	8.3	8.1	8.1	7.9	7.8	7.6	10.2	8.9
受給者1人あたり利用日数・回数(認知症対応型通所介護)	D31-i	日	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	8.0	7.0	7.1	9.8	9.8	9.7	10.6	10.7	10.6	13.3	12.0	12.3
受給者1人あたり利用日数・回数(地域密着型通所介護)	D31-j	回	見える化・時系列 (各年度年報.R6はR7/2サービス提供月まで)	8.5	9.0	8.7	8.9	8.8	8.7	9.4	9.4	9.2	10.2	10.0	10.4

7

<p>全国平均等との比較</p> <p>●受給者1人当たりの給付月額、在宅及び居宅系サービス、在宅サービスともに全国平均、県平均より低く、南あわじ市より高い傾向にある。</p> <p>●全国平均、県平均との比較において、受給者1人あたり給付月額が高い傾向にあるサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通所リハビリテーション ・短期入所生活介護 ・短期入所療養介護 	<p>全国平均等との乖離について理由・問題点等の考察(仮説の設定)</p> <p>①通所リハビリテーションについては、人口に対して提供事業所が多いのではないかと。</p> <p>②短期入所生活介護、短期入所療養介護については、施設サービス同様、高齢独居世帯・高齢者のみの世帯が多いため利用が多くなり、給付月額が高いのではないかと。</p>	<p>設定した仮説の確認・検証方法</p> <p>●「見える化」システムの指針を利用。</p> <p>①「K3-hサービス提供事業者数(通所リハビリテーション)×(2024年)全国平均6.5、県平均7.4、当市12.3、南あわじ市11.4。</p> <p>②「K3-iサービス提供事業者数(短期入所生活介護)×(2024年)×人口10万人あたりの施設数」全国平均9.2、県平均8.5、当市17.2、南あわじ市25.2。</p>	<p>問題を解決するための対応策(理想像でも可)</p> <p>●在宅サービス及び居住系サービスにおいては、全国平均・県平均と比べて受給者1人当たりの給付月額が低いサービスが多く、これからの介護予防、自立支援・重度化予防に努めていく。</p> <p>●自立支援型地域ケア個別会議の実施。開催回数33回(2025年度見込み)。ケアマネジャー、事業所等に参加してもらい、多職種にて要支援1、2、要介護1の方を対象に、自立支援・重度化防止に向けて検討会を行っている。また個別事例の検討から、地域課題を見出し、介護予防に努める。</p>
---	---	---	--

自由記述